

検討概要：新宿区地球温暖化対策指針について

・実施体制、実行計画案の検討

1. パブリックコメント後の変更点について

(1) 素案の表現・内容について

- ① 資料 1-1、p12 の想定する「社会の技術の進歩について」は、技術の進歩だけではなく、こうした技術が社会に定着するための制度など社会の仕組み（カーボンオフセットや排出量取引などの仕組み）についても記載したほうがよいのではないか。（会員）
技術だけでなく、ライフスタイルや社会全体を変えていく必要がある、というニュアンスで文章を作り変えてはどうか。（部会長）
表題を「2050 年の社会の進歩について」としてはどうか。（会員）
→ご指摘のとおり見直したい。全量買取制度や都のキャップアンドトレードなどを踏まえて、内容を補足したい。（区）
- ② 資料 1-1 の p9、資料 1-2 の p2 について、短期のところ将来目標を達成するための・・・とあるが、将来目標とは何を指しているのかわかりづらいため、工夫が必要である。（会員）
- ③ 資料 1-1、p41「市街中心地の道路のモール化」について、パブリックコメントの意見と対応していないのではないか。ベンチや花壇の設置など都市基盤整備としての施策が書かれているが、低炭素まちづくりとしての施策をいれてはどうか。（部会長）
- ④ 資料 1-1、p70 および資料 1-2、p4 の「低炭素都市“新宿”の姿」の絵について、資料 1-1、p 15 および資料 1-2、p3 の「低炭素なまちづくり実現に向けたトータルイメージ」の 3 つの基本方針との関連がわかるよう、同じ色で枠をつけてはどうか。（会員）
基本方針 I～Ⅲの順番に配置し、キーワードを入れてはどうか。（会員）
真ん中の「低炭素都市“新宿”」に向かって周りから矢印を伸ばしてはどうか。または絵の上部に「低炭素都市“新宿”」を配置し、上に向かっていくことを表現してはどうか。（会員）
→「低炭素都市“新宿”の姿」の絵と 3 つの基本方針のつながりがわかるよう検討させていただく。（区）
- ⑤ 資料 1-1、p7「3 つの基本方針」について、「新宿エコ隊」が本文中で最初に出てくる箇所であり、説明を一言加えた方がよいのではないか。（会員）
→ご指摘を踏まえ、説明を加える。本文中に入れるか注釈をつけるか、は検討させていただく。（区）
- ⑥ 資料 1-1、p52 の「民生業務部門」は、図 4-12 と合わせて「民生部門（業務）」とした方がわかりやすいのではないか。（会員）
→ご指摘を踏まえ、表現は統一する。（区）

(2) 概要版の表現・内容について

- ① 資料 1-2 について、概要版 p1～p2 は字が多く、年配の方にとっては読みづらいのではないかと。ページ数を増やすか、情報量を削るか、等の工夫をしていただきたい。（会員）
- ② 資料 1-2、p5～7 について、それぞれの取組みの枠の色が違うのは意味があるのか。（会員）
→色だけだと意味が伝わらないので、説明を加える。（区）
- ③ 資料 1-2、p4 の「低炭素都市“新宿”の姿」の絵の中にあるページ数はどこを指してい

るかがわからない。(会員)
→訂正する。(区)

2. 6章「指針実現に向けた方策」について

- ① 資料 1-1、p72 の冒頭の文で「環境学習情報センターが拠点となり」と記載されていることに違和感がある。(会員)
→区が中心的な役割を担う部分もあるので、表現を見直す。(区)
- ② 資料 1-1、p72 の推進体制の絵について、それぞれの取組みを周りが支えていく等の全体の雰囲気伝わるような表現の工夫をしていただきたい。(会員)
→図と文章の整合を図りながら、全体をネットワークしていくイメージが伝わるように工夫する。(区)
- ③ 今回、従来よりも厳しい目標を立てているため、もう少し踏み込んだ記載が必要ではないか。例えばエネルギーの面的利用を行う際に問題となる規制、費用、インセンティブについての検討が考えられる。(部会長)
→費用については、第2次実行計画の見直しにおいて予算を確保しながら検討する。規制やインセンティブについては、地域冷暖房の協議会などの場をつくっていき、その中で検討する。(区)
- ④ 庁内の各課の連携を明確に記載していただきたい。(会員)
→環境基本計画推進本部や庁内の連絡会について、記載を補充する。(区)
- ⑤ 情報提供の流れがわかりやすいように工夫してほしい。(会員)
→情報ルートについてもわかるようなイメージ図を検討する。(区)
- ⑥ 工程を環境審議会が確実にチェックすることが不可欠である。(会員)
→資料 1-1、p18~19 の「CO2 削減目標の一覧表」にもとづきチェックを行い、区民・事業者・区が PDCA を回していくことで目標を達成できると考える。区がデータの集計を行い、審議会を確認してもらう。区の施策については行政評価制度でチェックする。(区)
- ⑦ どのようにして PDCA をまわすかについて考える必要があり、データ収集の仕組みについても議論が必要である。(部会長)
データ収集に際して、区民や事業者に負担が大きくなるよう留意が必要である。(部会長)
→事業ごとでないとデータが出せないため、事業ごとにデータを収集していく予定である。CO2 排出量の計算はみどり東京・温暖化防止プロジェクトと共通して行う。(区)
- ⑧ 今回期待している環境学習情報センターの役割をもっと明確に本文中に記載していただきたい。

3. その他について

- (1) 専門部会は本日が最終回である。本日のご指摘事項の修正は事務局に一任いただき、できるだけ成果があがるよう進めていく。(区)

以上